

# 食物アレルギー対応

症状発症時の対応の手順（食物アレルギーにおけるアナフィラキシー症状発症時）

実施すること	留意点
<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 1. 状況の把握（発見者）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・発症児童から離れず観察・記録</li> <li>・他の職員を呼ぶ（担任に連絡）</li> <li>・エピペンや内服薬の用意を指示</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <input type="checkbox"/> 2. 学校長・副校長・養護教諭・栄養士等に連絡                     <p>* 学校長は現場到着次第、リーダーとなり、教職員の役割確認および指示をする。</p> <p>* 発症児童の対応は養護教諭が中心となっていく。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <input type="checkbox"/> 3. 緊急時に備えて                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人票準備、緊急時対応票記入開始（栄養士）</li> <li>・緊急時薬の準備（養護教諭）</li> <li>・エピペンを準備する（管理職）</li> <li>・保護者に連絡（担任）</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <input type="checkbox"/> 4. 必要に応じてかかりつけ医療機関に連絡（養護教諭）                     <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <input type="checkbox"/> 5. 緊急時                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・エピペン接種（本人または学校長の指示）</li> <li>・救急車要請（副校長）</li> </ul> <p>食物によるアナフィラキシーの症状の段階（次ページ中央部）を参考にして、医療機関を受診する。</p> <p>※緊急時対応票【☆Ⅲ】が緊急に受診を要する段階であり、エピペン注射のタイミングでもある。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <input type="checkbox"/> 6. 学務課給食保健係へ連絡 (5662-1626)                 </div>	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 児童を保健室に運ぶか、現場で対応                     <div style="border: 1px solid #add8e6; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原因食物を口に入れたとき ⇒口から出しすすぐ</li> <li>・皮膚についたとき ⇒洗い流す</li> <li>・目の症状 ⇒洗眼</li> </ul> <p>※アナフィラキシーショックを起こしている時は動き回させない。意識がある場合は衣服をゆるめ、本人の楽な姿勢にする。（仰向けで足側を高くし横たえ、吐き気や嘔吐がある場合は顔を横に向ける。）</p> <p><b>* 移動が必要な場合は、背負ったりせず、横になったままの姿勢を保つ。</b></p> </div> <input type="checkbox"/> 緊急時対応票に記入（5分ごとに症状を確認し、対応・記録する。）                        <input type="checkbox"/> かかりつけ医に状況を伝え、対応を確認する。                        <input type="checkbox"/> 救急車要請の際に伝達すること。                     <div style="border: 1px solid #add8e6; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所在地（入口）、学校名、学年（年齢）、氏名</li> <li>・主訴（食物によるアナフィラキシー症状、〇〇の症状がある。呼吸状態は…）</li> </ul> <p>* 受診には校内職員が付き添い、状況を医師に正確に伝える。（緊急時対応票・個人票を持参）</p> </div> </div>

・アナフィラキシーとは …

学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン（財団法人日本学校保健会）60頁参照

・エピペン注射とは …

学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン（財団法人日本学校保健会）66～67頁参照

\* 「学校給食における食物アレルギーの対応について」（江戸川区教育委員会）10頁を参考に作成

緊急時対応票

(ふりがな) 児童生徒氏名		性別 生年月日	男・女 平成 年 月 日 ( ) 歳	
○食べた時間 ( 時 分 )		症状発症の際の緊急時に記録しておく。 救急車を要請した場合に情報提供する。 <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 連絡 <input type="checkbox"/> 相談を忘れずに行い、済んだらチェックする。		
○食べたもの ( )				
○食べた量 ( )				
○症状が出た時間 ( 時 分 )				○保健室へ来た時間 ( 時 分 )
○処置 ( ・口のものを取り除く ・うがいをする ・手を洗う ・その他 )				
○症状観察開始 ( 時 分 )				○内服 ( 時 分 )
全身の症状	<input type="checkbox"/> ぐったり <input type="checkbox"/> 意識もうろう <input type="checkbox"/> 尿や便を漏らす <input type="checkbox"/> 脈が触れにくいまたは不規則 <input type="checkbox"/> 唇や爪が青白い	呼びかけに対して反応がなく、呼吸がなければ、心肺蘇生を行い、AEDを用意	5分ごとに注意深く症状を観察すること	
呼吸器の症状+	<input type="checkbox"/> のどや胸が締め付けられる <input type="checkbox"/> 声がかすれる <input type="checkbox"/> 犬が吠えるような咳 <input type="checkbox"/> 息がしにくい <input type="checkbox"/> 持続する強い咳き込み <input type="checkbox"/> ゼーゼーする呼吸	<input type="checkbox"/> 数回の軽い咳	発症した症状にチェックする	
消化器の症状	<input type="checkbox"/> 持続する強いお腹の痛み (がまんできない) <input type="checkbox"/> 繰り返し吐き続ける	<input type="checkbox"/> 中等度のお腹の痛み <input type="checkbox"/> 1～2回のおう吐 <input type="checkbox"/> 1～2回の下痢	<input type="checkbox"/> 軽いお腹の痛み (がまんできる) <input type="checkbox"/> 吐き気	
目・口・鼻・顔面の症状	上記の症状が 1つでもあてはまる場合	<input type="checkbox"/> 顔全体の腫れ <input type="checkbox"/> まぶたの腫れ	<input type="checkbox"/> 目のかゆみ、充血 <input type="checkbox"/> 口の中の違和感 唇の腫れ <input type="checkbox"/> くしゃみ、鼻水、鼻づまり	
皮膚の症状		<input type="checkbox"/> 強いかゆみ <input type="checkbox"/> 全身に広がるじんま疹 <input type="checkbox"/> 全身が真っ赤	<input type="checkbox"/> 軽度のかゆみ <input type="checkbox"/> 数個のじんま疹 <input type="checkbox"/> 部分的な赤み	
① <b>ただちにエピペンを使用</b> ※エピペンの効果の持続時間は20分 ② <b>救急車を要請する</b> ③ その場で安静を保つ ④ その場で救急隊を待つ ⑤ 可能なら内服薬を飲ませる  ① <b>ただちに救急車で医療機関へ搬送</b>		① 内服薬を飲ませ、エピペンを準備する ② 速やかに医療機関を受診する(救急車の要請も考慮) ③ 医療機関に到着するまで、5分ごとに症状を観察し、左記の症状が1つでもあてはまる場合、エピペンを使用する。 <b>速やかに医療機関を受診</b>	① 内服薬がある場合は、飲ませる ② 少なくとも1時間は5分ごとに症状の変化(特に脈や呼吸)を観察し、症状の改善がみられない場合は医療機関を受診する <b>安静にし、注意深く経過観察</b>	
<input type="checkbox"/> 学校長へ報告		<input type="checkbox"/> 医師へ報告		
<input type="checkbox"/> 保護者へ連絡 ⇒ 連絡先: Tel ( )		《自宅・職場・携帯》		